

RPPC メールマガジン 第 883 号

リサイクルポート推進協議会（令和 3 年 8 月 4 日）

■先週・今週の事務局からのお知らせ

新潟県姫川港（糸魚川市）で熊本県豪雨災害の災害廃棄物を受入れ
～今春完成した西ふ頭 3 号岸壁で初めての荷揚げ作業を実施～

8 月 2 日（月）に今春完成した姫川港西ふ頭 3 号岸壁（-10m）で令和 2 年 7 月豪雨災害（熊本県）で発生した災害廃棄物（木くず）の荷揚げを行いました。木くずは明星セメント株式会社糸魚川工場において、バイオマス発電燃料として使用し、発生した焼却灰をセメント副原料として再利用します。

今回の受入れ量は 666 トンであり、姫川港で平成 28 年熊本地震以降に受入れた災害廃棄物量は約 6.3 万トンになります。

掲載記事についての URL：<https://www.niikei.jp/161285/>

■リサイクルポートに関連する最新の情報

1.近畿地整、大阪湾岸道路西伸部の主塔 1、4 の土質調査へ

近畿地方整備局神戸港湾事務所は、大阪湾岸道路西伸部に係る土質調査として、主塔基礎の設計に活かすボーリング調査 2 件の手続きに入っている。また今後始まる海上部工事における技術的検討として、「神戸港臨港道路等施工検討業務」の手続きも進めている。同業務では現地着工への準備として、施工方や安全対策の検討、工程表の作成、概算数量・概算工費などをまとめる。

神戸港湾事務所が手続き中の業務のうち、土質調査その 1 は、神戸港灘浜航路際に設ける 1 P 主塔、及び新港航路に位置する 4 P 主塔基礎部等が対象。ボーリングや潜水探査調査を行って、設計に必要な詳細データを得る。

新港・灘浜航路部の連続斜張橋部橋梁基礎では六甲アイランド側から 1 P～4 P まで 4 基の主塔を立ち上げることになっているが、これまでに 2 P、3 P の主塔基礎部については過年度に土質調査を完了している。今回の調査は残っている 1 P、4 P が対象。調査業務では主塔のほか、六甲アイランド側海上部の P 3、P 4 橋脚、ポートアイランド側の P 5 橋脚についても実施する。

また土質調査その2はポーアイ～和田岬側が対象で、主塔のPB11の他、PB5、PB7～10、12の各橋脚基礎部について実施する。こちらの履行期限は4年5月20日を予定している。

一方、神戸港湾事務所が別件で手続きに入っている臨港道路等施工検討業務は、神戸港西部工区～六甲アイランド地区臨港道路整備事業（大阪湾岸道路西伸部）において周辺港湾工事や現地の状況等、事業実施に必要な条件を把握したうえで、技術的な検討を実施する。

2.経済産業省、エネルギー基本計画素案。洋上風力など再エネ主力

経済産業省は7月21日、第46回総合資源エネルギー調査会基本政策分科会（会長、白石隆熊本県立大学理事長）を開催し、国のエネルギー政策の基本方針となる第6次改訂エネルギー基本計画の素案を明らかにした。それによると2030年には洋上風力発電などの再生エネルギーが電源として最も主力となる。

同省では野心的な見通しとして2030年の発電電力量の約6割を再生エネルギーと原子力により脱炭素化する。2030年ミックスでは原子力については現行目標の20～22%のままだが、洋上発電などの再エネについては22～24%から36～38%へと大きく引き上げる。これを2030年温室効果ガスの2013年度比削減割合46%減につなげ、さらに50%の高みを目指す。

3.港湾局、港湾の工期設定ガイドライン。地方・民間にも今後推奨

国土交通省港湾局は7月21日、港湾・空港工事の工期設定に関するガイドラインを策定し、公表した。

ガイドラインでは工事途中での工期圧迫を防ぐための特記仕様書への発注者による施工条件の記載に加えて、新たに網羅的な確認を行うための施工条件チェックリストを用意。施工期間・時間帯、着手時期、関係機関との調整状況や使用する作業船の制限など、一覧表で明示することで工事計画立案に際して条件を確認しやすくする。

同ガイドラインは国が発注する港湾・空港工事を主な対象とするが、建設業全体の働き方改革を進めるためにも、今後地方公共団体と民間発注による工事でも用いることを推奨する。

4.サイバーポート利用促進。事業参加者 18 社等決定

国土交通省港湾局は7月26日、3月から5月にかけて公募していたサイバーポート利用促進・運用効率化事業の参加者を発表した。有識者委員会の委員による評価を踏まえて18社1組合（12事業体）を選定。同事業にはいすゞライネックス、Orient Overseas Container Line、宇徳、シスコム、スギヨ、住友倉庫、ナカムラロジスティクス、関西総合システム、関門コンテナターミナル、黒谷、山九、第一港運、富山新港荷役施設管理運営組合、福住運送、伏木海陸運送、松菱運輸、三井倉庫、三菱倉庫、YKKの参加が決まった。

また同局では同日に第2次公募も開始した。今後、応募締切や参加者の決定、契約調整手続きなどを随時行い、来年2月には実証の実施を予定。

5.舞鶴港、2岸壁の構造検討業務へ。和田、前島地区の国際バース

近畿地方整備局舞鶴港湾事務所は、舞鶴港和田地区、並びに前島地区の岸壁構造の検討業務をおこなう。和田地区は、バルク貨物等を対象とする水深12%延長240%岸壁。また前島地区は国際フェリーふ頭などとしての位置づけがされており、水深9m延長250m+36m。構造検討を実施して今後の整備計画時にデータを活かす。

今回構造検討に入る岸壁は、3万DWT級の国際バルク貨物船を想定した水深12m延長240m。エプロン幅30m。岸壁基礎はSCPによる地盤改良を対象にしている。

また前島地区は既設の水深5・5m岸壁を20m前出しして水深9m延長286m（うち船首尾部36m）として港湾計画に位置付けられている。既設の水深5・5m岸壁は利用頻度も低いことから、沖出しによって埠頭を更新し、高度利用していく。国際フェリーバースとしての機能が予定されている。

※新たに導入したPCとメーカーの環境では、添付ファイルが「***.dat」となったり、不要な添付ファイルが付く場合があります。受信ファイルに不具合がある場合は、気兼ねなくその旨ご指摘ください

////////////////////////////////////

発行者：RPPC 広報部会

部会長：新谷 聡 りんかい日産建設（株）

部会員：山田 安彦 日本製鉄（株）

友歳 巖 五洋建設（株）

川田 延也 東京都

齋藤 憲雄 山形県リサイクルポート情報センター

リサイクルポート推進協議会 事務局

一般財団法人みなと総合研究財団（内） 担当：押田、清水、安田

URL: <http://www.rppc.jp/> E-mail: rppc_jimukyoku@wave.or.jp

////////////////////////////////////